

【桜ヶ丘公園】

多摩丘陵自然公園内にある、丘陵と谷間からなる公園。地形は高低差数十mと起伏に富み、園内には雑木林を主体の自然林があり、自然散策に適している。

旧多摩聖蹟記念館：明治天皇が兔狩りや鮎漁のために何度か訪れたことを記念して1930年(昭和5)に建てられた。昭和61年(1986)に多摩市に管理が移ったことから「旧」の字がついた。「聖蹟」天皇の行幸の地を指す。

**** 関戸**：旧鎌倉街道沿いの熊野神社に鎌倉時代の関所跡があり鎌倉防御の拠点の一つだと考えられる。今でも南木戸の跡がある。

【石田寺 (せきでんじ)】 (土方歳三墓所)

開山は南北朝時代の康安元(1361)年。一度は廃寺となるが天文13(1544)年に再建された。土方歳三の生家に近く、一族の墓所。「日野七福神」の福祿寿を祀る寺。境内には樹齢400年以上600年と伝えられるカヤの木も立つ。(目通りの太さは4.5m、高さ26m、)

【ふれあい橋 (万願寺歩道橋)】

浅川をはさむ高幡地区と万願寺地区の人々の往来のための歩道橋として平成3(1991)年に完成。吊り橋の景観をもつ町のシンボルの存在で、ふれあい橋と名付けられた。

【向島用水親水路】

農業用水路の機能のまま、周辺環境や生態系に配慮し、潤いと安らぎを与える親水路。

【高幡不動尊】 (真言宗智山派高幡山金剛寺)

成田、大山と並ぶ関東三大不動。1100年前、平安時代初期に慈覚大師円仁が山中に不動堂を建立。不動明王をご安置したのに始まる。市内随一の古刹。

「不動明王像」：重文。平安時代(木彫、漆塗り、坐像285.8cm)尊容きわめて雄偉で、古来火防の不動尊。

五重塔：平安時代の様式で建てられた塔。和様、三手先組、青銅瓦葺、塔高40m、総高45m。

もみじまつり：平成21年は11月18日から30日。3万坪の境内には樹齢二百年を超える古木350本を含む1,000本のもみじがある。五重塔や鐘楼堂との取り合わせも美しい。